



名城大学 通信

2009年 8月 No.37
MEIJO UNIVERSITY



天白キャンパス 第2グラウンドが人工芝化

緑と白のコントラストが鮮やか

01 第6回 名城大学Dayのお知らせ

03 特集1 懐かしの“あの味”を訪ねて

05 CAMPUS NEWS
・赤崎勇教授に京都賞
・経済学部・経営学部 設立10周年記念のデイハイク2009を実施
・ハンドボール部が東海学生リーグ全勝優勝!
・第2グラウンドが人工芝化
・薬物乱用防止キャンペーンで講演会を開催
・春の叙勲で名誉教授2人が受章

07 輝く卒業生 第27回 童話作家、詩人、朗読家 鬼頭 隆さん

09 特集2 名城大学 ECO NEWS

11 平成20年度 事業報告

15 平成20年度 財務報告

17 平成20年度 就職状況報告

20 入学センターからのお知らせ

21 名城大学スポーツ・文化後援会からのお知らせ

22 公開講座のご案内 名城大学「卒業30周年ホームカミングデイ」のご案内

23 輝く青春シリーズ Vol.11 準硬式野球部

第6回

名城大学 Day

～教育ときずな～



特別企画 ①

特別講演会

「人生を楽しくする方程式」

数学者・大道芸人 ピーター・フランクル 氏



特別企画 ②

おじんの童話会

(けいさんとりゅうさんwithみずぎ)

「ワナヒカ物語」

「ゆみちゃんとえんぴつさん」

童話作家 鬼頭 隆 氏 (本学商学部卒)、片岡恵子 氏、鬼頭瑞希 氏

買う・食す

学生食堂無料体験

(数量限定、品切れの際はご容赦ください)

その他の主な催し...

知る・学ぶ

- 附属図書館の開放
● 各学部等紹介コーナー・進学相談コーナー【各学部、研究科、入学センター】

考える・体験する

- 初心者のためのパソコン教室【情報センター】「パソコン操作の第一歩!」「情報処理教室の開放とパソコンQ & A」
● 国際交流コーナー【国際交流センター】「留学生による韓国語講座」「母国文化紹介」
● ノルディックウォーキングを始めよう
● 非常食試食、起震車体験
● ボランティア協議会活動紹介・報告会、AED救命講習会
● 健康パオ&食生活栄養相談会【名城大学生生活協同組合】

見る・楽しむ

- えいごdeピンゴ、えいごdeかみしばい&カルタ【大学教育開発センター】
● 見てびっくり!!初版装丁本展示コーナー、自分だけのオリジナルブックカバーを作ろう!【附属図書館】
● 卒業生作品展【名城大学校友会】
● お絵かきバス(名古屋市交通局協力)(小学生以下対象)
● 応援団演武対校戦
● 映画上映「ファンタジア」「ピーターパン」

買う・食す

- 校友会全国物産展、附属農場農産物即売会
● 名城大学グッズ販売コーナー
● フリーマーケット
● 売店J B's、大学生協の営業

見る・楽しむ

大学・附属高校のクラブ等紹介

- 大学クラブ紹介
体育会演武会【居合道部、応援団リーダー部、合気道部】
パソコン等を使った情報技術発表【情報技術研究会】
子供と一緒に工作しよう【児童文化研究会】
模型実演【鉄道研究会】、ロボット展示【ロボット倶楽部】
車両展示【エコノパーククラブ、自動車技術研究会】
手作り体験教室【造芸部】、漫才・コント【落語研究会】
作品展示【美術部】
● 附属高校クラブ等紹介
科学を体験しよう【自然科学部】
活動報告、ソーラン節with留学生【総合学科人間コミュニケーション系列】
● 大学・附属高校合同企画
チアリーディング部合同演技、茶(華)道部合同茶会



場所

名城大学天白キャンパス

地下鉄鶴舞線「塩釜口/名城大学前」駅下車徒歩8分
※駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

日時

9月19日(土)

10:00~16:00【受付:9:30~15:00】

予備日は9月20日(日)その場合、一部のイベントは中止になります。

入場無料



知る・学ぶ

公開講座

- 日常生活の悩みと法・法律家・裁判所【法学部】
● 民主政治の不思議【法学部】
● 企業が公表する利益の知られざる一面～経営者の利益調整行動とは～【経営学部】
● 伝統技術と先端技術が融合する愛知のモノづくり【経済学部】
● 筋肉の大切さ【理工学部】
● 森の楽校へ行きませんか～里山と市民活動、そしてエコキャンパス～【都市情報学部】
● ひとのころはどうか成長するか:発達心理学研究の新しい成果【人間学部】
● これからのファイナンシャル・プランニング～保険・年金編～【キャリアセンター】
● 東洋の占星術【アジア研究所】

公開討論会

- 何のために大学に行くのか?～人生設計の選択肢としての理工学部～【理工学部】

考える・体験する

実験講座

- (定員限定、保護者の同伴が必要なものがあります)
● つくって学ぼう食の科学【農学部】(全年齢対象)
● 薬と安全に安心して付き合う【薬学部】(小学生対象)※事前予約制【9月7日(月)締切】
● みんながわかるやさしい科学【総合研究所】(小学生以上対象)
● 総合数理実験・ゲーム:遊びから学ぶ理科・算数(数学)「静電気で遊ぼう!」【総合数理教育センター】(小・中学生対象)



※イベントは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。



牛スジ、大根、卵、自家製揚げ、こんにゃく、ちくわとサトイモ 各160円。おでんはセルフサービスとなっています。



ご主人の星野房明さん・奥様の裕美子さん
「懐かしいお友達と名古屋の味を味わいながら、学生時代の話を語り合ってください」

味噌おでん 居酒屋 美ゆき
名古屋市昭和区山手通5-32-2
052-832-3030
17:00~24:00 日曜定休



学生が「おばちゃん」と気楽に声をかけたくなる気さくな感じの節子さんとご主人の達夫さん。

たこやきたいやきの れいんぼー
可児市虹ヶ丘6-21
0574-65-9507
10:30~19:00 月曜定休



名鉄広見線「西可児」駅。改札を通った数名の学生たちが向かった先は…? 「名鉄パレマルシェ」。ここで飲み物やお菓子などを買い、大学の送迎バスの発着所へ向かいバスの時間まで過ごします。大学の送迎バスも駅前ロータリーから発着(なかには、駅から大学まで歩く学生もいます)。

八事キャンパス

愛され続ける屋台の味 美ゆき

業学部がある八事には、名店といわれる店がいくつもあります。なかでも「美ゆき」は、大学関係者に愛されているお店です。
「美ゆき」の創業は昭和39年。今のご主人のお母さんが屋台から始めました。
八丁味噌と牛スジでとっただしがベースの「味噌おでん」が名物。屋台の頃から、味噌ダレを継ぎ足した秘

伝の味です。聞けば、この「味噌おでん」を食べに、出張時などに、わざわざ来店する卒業生もいるそうです。
しっかりと味噌ダレがしみた牛スジはホロリとやわらかく、水切りした豆腐を揚げて作る自家製厚揚げは弾力があり食べ応え十分。
ゼミ生が教授を囲み、酒を酌み交わし、笑い、時に議論を戦わせる。そんな場の最高の肴が、「美ゆき」の味噌おでんなのです。



八事のジャスコ側から見た風景です。歩いてすぐ、正面右手の道の先に八事キャンパスがあります。

可児キャンパス

ユニークなタイ焼きが有名 れいんぼー

「揚げたタイ焼きとか、ちよっとユニークなものがある店」と言えば虹ヶ丘の「れいんぼー」。
可児キャンパスができたのは今から14年前。「れいんぼー」も同じような時にオープンしました。焼きそばやお好み焼きといった軽食を作って売っているお店で、飲食スペースもあり、できたてを食べることができます。
お好み焼きやオムそばにご飯、味噌汁、漬物、デザートまでついたボリュームたっぷりの定食(550円)が「学生に変わらず人気」とお店を切り盛りする佐伯節子さんは話します。
気さくな人柄の節子さんと「れいんぼー」の味を慕って、休日には卒業生が家族連れでやってくるそうです。「おばちゃん、久しぶりって、1期目の卒業生が家族を連れて食べにきてくれる。うれしいことですね」と卒業生とのエピソードを笑顔で話してくれました。

某教授が地元ケーブル局で紹介してから、メディアの取材が増えたという店の名物は「しろちゃん」。もちもちした白い皮と塩キャラメル、マンゴープリンなどの変わり種が特徴のタイ焼きです。遠方から買いに来るファンも多いそうです。しろちゃん1個60円。



写真提供:「chat」

懐かしの “あの味” を訪ねて

～ 天白・八事・可児キャンパス周辺の思い出の店 ～

卒業後も、猛烈に食べたくなるのがこの「カラアゲ定食」です。



卒業しても離れられない、不思議な「金鯱」の味です。
卒業しても離れられない、不思議な「金鯱」の味です。33年前の創業時から、看板メニューは「カラアゲ定食」です。下味にニンニクを使っているという以外は企業秘密のカラアゲを食べに、毎週、店を訪れる熱心な卒業生もいるのだとか。在学生にも卒業生にも人気のお店です。また、オープンキャンパスの日などは、「お父さんが学生時代に食べていたのがこのカラアゲ定食だ」と、娘さんや息子さんを連れて来るOBも。アットホームな雰囲気「金鯱」らしい、ほほえましい話です。



ビニールのテーブルクロスや壁のポスターは変わったけど、変わらない雰囲気と味があります。



加藤孝美さん(右)・真梨さん親子 右が「金鯱」。隣には6年前に移転した「名城商事」が。 どの年代の学生も変わらず「金鯱」に遇います。彼らは理工学部1年生。「マンガを読みながら、ご飯を食べるのが「金鯱」での正しい過ごし方(笑)。

天白キャンパス

卒業しても「金鯱」に夢中 レストラン 金鯱

卒業しても「金鯱」に夢中 卒業生!と話すオーナーの加藤孝美さん。引退したお母さんの跡を継いで2代目となりました。3代目となる娘の真梨さんもお店を手伝っています。33年前の創業時から、看板メニューは「カラアゲ定食」です。下味にニンニクを使っているという以外は企業秘密のカラアゲを食べに、毎週、店を訪れる熱心な卒業生もいるのだとか。在学生にも卒業生にも人気のお店です。また、オープンキャンパスの日などは、「お父さんが学生時代に食べていたのがこのカラアゲ定食だ」と、娘さんや息子さんを連れて来るOBも。アットホームな雰囲気「金鯱」らしい、ほほえましい話です。

甘党に活用 クロノヌ洋菓子店

クロノヌは開店35周年を迎えました。天白キャンパスの学生との付き合いが一番長いのでは?と思われれます。今は2代目の服部恭久さんが継いでいます。
「35年のご愛顧のお礼に」とシュークリームを105円(通常180円)で提供しています。先代の奥様・美代子さんによると、女子も男子も大学から駅に向かう途中、ここでシュークリームを買い、頬張りながら帰っていくそうです。
このシュークリームは今年いっぱい105円で販売しているので、ぜひお立ち寄り。



カラアゲ定食600円/
日替わりランチ550円/
女子にも人気。日替わりのお弁当300円
10日や20日など「0」のつく日はランチが50円引きに
レストラン 金鯱
名古屋市天白区塩釜口2-801
052-833-6261
10:30~21:00 日曜・祝日定休



道をはさんだゲームセンター「スペースシャトル」も健在です。植田川の橋を渡り、歩いていった先のパッティングセンター。懐かしい場所ですね。



先代の奥様・美代子さんは「今までみなさんに来ていただいているお礼に」と話します。心も詰まったシュークリームは皮がクッキーシューでパリッと、カスタードクリームは滑らか。

クロノヌ洋菓子店
名古屋市天白区塩釜口2-708
052-832-6662
8:30~20:00 火曜定休



PRIZE
赤崎勇教授に京都賞

稲盛財団(京都市、理事長＝稲盛和夫・京セラ名誉会長)は6月19日に開催された理事会で、「第25回京都賞」の受賞者4人を決定しました。このうち、先端技術部門には本学理工学部の赤崎勇教授が選ばれました。

赤崎教授は青色発光ダイオード(LED)の研究開発で1989年に世界初の発光に成功しており、2002年に藤原賞を受賞、2004年に文化功労者にも選ばれています。専門は半導体物性工学、電子材料学、結晶成光学です。

京都賞は科学や文化の発展に貢献した人に贈られる賞で、稲盛和夫・



記者会見に臨む赤崎勇教授

SPORTS
ハンドボール部が
東海学生リーグ全勝優勝!

東海学生ハンドボール春季リーグは、5月10日に男子1部リーグの最終戦が行われ、本学ハンドボール部が大同大学との試合を33-28で勝利、リーグ戦を7戦全勝として、見事リーグ制覇を果たしました。

また、この春季リーグ全体を通しての個人表彰では、近藤拓也選手(法・4年)が最優秀選手賞に、堀川祥宏選手(人間・4年)・柳匠郎選手(法・2年)・寺脇将選手(理工・3年)の3人がベストセブン賞に選出されました。チームを優勝に導いた本山慶樹監督からは、「どのゲームも接戦で、難しいゲームばかりでしたが、選手がよく粘って戦ったことで、勝利を引き寄せることができました。今後トレーニングを続け、8月の西日本インカレ(西日本学生選手権大会)では優勝を目指します」とのコメントが寄せられました。西日本学生選手権大会



喜びにわく部員たち

京セラ名誉会長が約200億円の私財を投じて1985年に創設。ノーベル賞との重複受賞者が6人のほります。

赤崎教授は京都賞の受賞決定を受けて記者会見に臨み「思いがけない大きな国際賞をいただき大変うれしく思っています。これまで『我一人荒れ野を行く』という心境で、愚直に研究を続けてきました。材料の世界の研究に終わりはありません。これを励みに体力の許す限り研究に励みます」と喜びを語りました。

EVENT
経済学部・経営学部
設立10周年記念の
デイハイク2009を実施

4月18日、岐阜県馬籠から長野県妻籠までの旧中山道(約8km)を新入生と教職員が共に歩く、恒例の「デイハイク2009」(経済学部・経営学部主催)を行いました。

今回は「経済学部・経営学部設立10周年記念行事」として、新入生・教職員だけでなく、本学周辺の地域住民や卒業生が



ミツバツツジの記念植樹



応援団リーダー部などによる激励

らも広く参加者を募り、バス17台・総勢564人も参加者が、麗らかな春の木曾路を散策。また学生たちは、地域研究の第一歩として、自らの目で、その地域を感じました。

また、上級生であるアメリカカンファットボール部やラグビー部員による交通整理をはじめ、ゴール後には付近の天白公園に場所を移し、地元地域団体「住吉会」の有志による豚汁などの炊き出し、本学応援団リーダー部・チアリーディング部・吹奏楽部が演舞・演奏・字歌指導を行い、見事完歩を果たした参加者を激励。このように多くのボランティアの方々にも支えられました。

なお、天白公園では、下山宏学長や宮川正光南木曾町長、馬籠・妻籠間において初めてデイハイクを行った4年前から大変尽力された勝野春喜南木曾町会議員の3人にご挨拶いただきとともに、10周年を記念して南木曾町の町花であるミツバツツジの記念植樹も行いました。

FACILITIES
第2グラウンドが人工芝化

天白キャンパスにある第2グラウンドが人工芝化され、5月から利用されています。



新しくなった第2グラウンド

近年では、グラウンドの人工芝は珍しくなくなってきました。本学でも以前から整備の要望が寄せられていました。念願かなった今回の改良で、トラックも1コース増え、4コースに。学生の教育や課外活動の質向上が期待されるだけでなく、砂塵による近隣住民への迷惑がなくなったことも大変喜ばしいことです。

EVENT
薬物乱用防止キャンペーンで
講演会を開催

大学生が大麻を栽培、使用する事件が全国で相次ぐ中、学生たちに薬物乱用の恐ろしさを訴える「薬物乱用防止キャンペーン」(学務センター主催)の講演会を開きました。

第1回は八事キャンパスで6月8



薬物依存の怖さを訴える鍋島俊隆教授

日、「マリファナは怖い」薬物乱用(薬事日報社などの著書がある九州保健福祉大学の山本郁男副学長(毒理学)が「乱用薬物」マリファナは何故怖いのかのテーマで講演。薬学部の学生らを中心に約150人が参加しました。山本副学長は、薬物教育の大切さを強調し、更に、「薬物が及ぼす深刻な影響をしっかりと学び、将来の仕事に生かしてほしい」と薬剤師を目指す学生たちに注文しました。

第2回講演会は天白キャンパスで6月29日に行われ、薬学部の鍋島俊隆教授が「薬物乱用と依存の話」と題し、講演。医薬品適正使用推進機構(NPO法人JIDO)の理事長も務める鍋島教授は、教室を埋めた約300人の学生を前に、大麻などの薬物の怖さを「依存」というキーワードを中心に説明。「薬物は一度だけでは済まされない。だからこそ、大切なのは一度目を避けること。絶対、興味本位でやらないうちに」と学生たちに強く訴えかけました。

PRIZE
春の叙勲で
名誉教授2人が受章



本城武雄名誉教授



小林康助名誉教授

本城武雄名誉教授(元法学部)と小林康助名誉教授(元商学部・経営学部)の2人が、今年春の叙勲で、これまでの教育研究の功績を称えられ、瑞宝中綬章を授与されました。

本城名誉教授は1927年生まれ、同志社大学法経学部法律学科卒で専門は民法。1964年から2002年まで本学に在職しました。また、小林名誉教授は1930年生まれ、明治大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学で専門は経営学、労務管理。1968年から2003年まで本学に在職しました。



下山宏学長(左)と池田輝政副学長(右)

輝く卒業生 第27回

名城大学Dayの童話朗読会は今年で5回目。一期一会の出会いを大切に



1973年 商学部卒
 童話作家、詩人、朗読家 **鬼頭 隆** さん

32歳の時から印刷関係の仕事の傍らで童話を書き始め、35歳の時に創作に専念。名古屋の芸術創造センターで童話会を開いたところ、口コミで500人近くもの人が集まる。妻の紀子さん、娘の瑞希さん、そして近年では弟子の片岡恵子さんとともに、年間50回もの公演を行っている。「おじん」や、最近では「りゅうさん」の愛称で親しまれている。

今年度で6回目となる名城大学Dayの教育と時を問わず、その中で、第2回から続いて行われている人気企画が「おじんの童話会」です。童話作家、詩人、朗読家の鬼頭隆さんにお話をうかがいました。

鬼頭さんがご長男へのプレゼントとして絵本を探していた時のこと。頭の中に物語が浮かんできました。それ以来、童話を書き始め、仕事ですら童話が次から次へと浮かんできます。とうとう創作活動に専念するため、仕事を辞める決心をしました。

「仕事を辞める時は、大変なことになると思っていました。それに最初の頃は周りからの冷たい視線が厳しかった。でも次第に、人から自分のことをどう言う言われるのが苦にならなくなりました。開き直って『書くことに徹しよう、どうせならいいものを』と思ったんです」

童話を書き始めた当初は、近所の子どもたちが自宅に来て、創作した童話を読み聞かせていました。その時の子どもたちとは、大人になった今も交流を続けています。



多くの方が訪れる名城大学Dayでの童話朗読会(昨年の様子)。リピーターも多い。

「自分にとって、童話を聞きに来ていた子どもたちは人生を切り開いてくれた存在です。あの子たちが毎日のように『新しい童話を聞かせてくれ』と言ってこなければ、今こうして書いていないし、今の自分はありません。今でも、お酒を飲んだり、メールをしたり、電話をかけたたり。彼らに辛いことがあると家に来たりします。いい童話を作って、恩を返していきたいですね」

鬼頭さんは童話や生き方において、宮沢賢治の影響を強く受けました。子どもと接する時、童話を創作する時、朗読を行う時など、宮沢賢治の存在はいつも鬼頭さんの心の中にあります。

「童話を書き始めた頃、仕事を

もろうために、お客さんに対して本音を隠して接する自分の姿勢、子どもたちに向けて『思いやりを』とか『心を大事に』という気持ちで書いている童話とのギャップに悩んでいました。

そんな折、テレビで賢治さんの『銀河鉄道の夜』が流れていました。その一節にある『サソリが誰かのために生きたいという強い思いから、自分の体を真っ赤な火にして夜の闇を照らしている』という部分に、激しく心を打たれたんです。

60歳間近になった今でも、何をしたら人のためになれるだろうか、ということばかり考えています。自分の書いた童話の通りに、詩の通りに生きたい。だからこそ、迷ったり辛い時があったりすると、宮沢賢治に会いたいと思うんですよ」

名城大学生の時は、現在の童話作家という職業とやわらかな笑顔からは想像もつかない生活ぶりや風貌だったそうです。鬼頭さんにとっての学生時代とは。

「名城大学も他大学同様に学生運動で混乱していた時代だったこともあり、真面目に大学に通うタイプではありませんでした。また、昔は目が吊り上っていたので、街を歩いているとすぐにケンカを吹っかけられたり、大学生の先輩が経営していたバーで朝から飲んで、そのままアルバイトをしたりという生活をしていました。



宮沢賢治への熱い思いを語る鬼頭さん



近年の代表作、「ぞうさんのふとん」と「アリ玉国物語・アリマス国とアリマセン国」

だから、高校とか大学の友人たちは今の自分の姿を見たら驚くと思いますよ、顔つきも変わったし。現実に、新聞に出た時に高校時代の友人から電話がかかってきて、『鬼頭隆っていう同姓同名の童話を書いているヤツがおるぞ。お前もちょっとはそいつを見習え!』って。それが自分だとは言えませんでした、恥ずかしくて(笑)」

名城大学Dayの童話朗読会を通じて、鬼頭さんには学生たちに対するある思いがあります。

「童話朗読会を手伝ってくれら放送部の学生たちが、お客さんと同じくらい気になります。一期一会、若い彼らと童話朗読会の出会いだけで終わってしまうのはもったいない。

名城大学は自分にとって本当に大事な存在。だけど学生たちには、10代、20代のみずみずしい感性のある時に、大学以外のいろんな人ともたくさん関わった方がいいと思うんだよね。若い時は何をやってもプラスになるから」

多くの困難や迷い、出会い、そして何よりも「書くことが好き」という情熱があったからこそ、多くの人たちを惹きつけてやまない人気童話作家となった鬼頭さん。今年も、名城大学Dayで多くの人たちを魅了することでしょう。

+ INFORMATION +

第6回 名城大学Day「おじんの童話会」(けいさんとりゅうさんwithみずき)

開催日 2009年9月19日(予備日20日) 14:30~16:00

・ワナヒカ物語(りゅうさん:鬼頭隆さん)
 ・ゆみちゃんえんぴつ(けいさん:片岡恵子さん)
 ・ひなたぼっこコンサート(みずきさん:鬼頭瑞希さん)
 ・その他、詩の朗読や質問コーナーなど

創作おじんの童話会 No.17 「獵師千造戦い絵巻」

開催日 2010年5月14日、15日 場所 名古屋市北文化小劇場

お申し込み・お問い合わせ先 090-8555-9430 (鬼頭さん)



里山体験のあとはミニゼミナールで環境学習

小ネタ ② 里山って?

山間と都市の中間に位置し、集落とそれをとりまく雑木林、水田、ため池、草原などで構成される地域概念です。農業・林業といった人の営みにもない、環境が形成・維持されてきました。愛知万博の「海上の森」開発への反対運動をきっかけに、生物多様性保全の場として里山の役割が注目されるようになりました。過疎化で手入れが行き届かず荒れたり、開発により消失したりする里山を守り、次世代につなぐ里山保全の活動が全国で展開されています。

参考資料：環境省「里地里山 ～古くて新しいいちばん近くにある自然」

小ネタ ① COP10(コップテン)とは

開催期間 2010年10月11日(月)～29日(金)

生物多様性条約では、条約の締約国が概ね2年ごとに集まり、生物多様性の保全やその持続的利用などについての国際的な枠組みを策定するCOP*が開かれます。COP10とは、2010年に愛知・名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議のことで、世界中から約7,000人が参加します。

2010年は、国連の定めた「国際生物多様性年」にあたり、また、2002年のCOP6(オランダ・ハーグ)で採択された「締約国は現在の生物多様性の損失速度を2010年までに顕著に減少させる」という目標年にもあたります。生物多様性条約にとって節目となる重要な会議として注目が集まっています。

*COPとは…Conference of the Parties(国際条約の締約国が集まって開催する会議)の頭文字です

生物多様性とは

「生物多様性」とは、「遺伝子の多様性(=それぞれの種の中でも個体差があること)」、「種の多様性(=いろいろな生き物があること)」、「生態系の多様性(=さまざまな環境があること)」が存在し、それらが互いに関わりあっている状態、それらの総称をいいます。



資料提供：生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会

朝日新聞・メ〜テレ 環境7大学集中公開講座2009

C.W.ニコル氏が「人と自然との共生」について講演



「アファン」にちなんで「アファンの森」と名づけられています。ニコルさんは再生に取り組みしている活動を映

作 家のC.W.ニコルさんを講師に迎えた公開講座が6月20日、太白キャンパスの名城ホールで開かれました。本学はじめ7大学が協賛する「朝日新聞・メ〜テレ環境7大学集中公開講座2009」の初回講座で、ほぼ満席の580人が、ニコルさんの語る「人と自然との共生」についての講演に耳を傾けました。ニコルさんは英国ウエールズ生まれの68歳。空手修業のため1962年に初来日しましたが、世界各地で環境保護活動にかかわった後、1980年から長野県黒姫に居を定め、環境問題などをテーマに執筆活動を続けています。1995年に日本国籍を取得し、荒れた森を購入、里山として再生させることで生態系の復活を試みる活動を続けています。森は、故郷ウエールズで、石炭の採掘と廃坑で荒れ果てていた森が、緑を回復しようとする人たちの運動によって生き返った「アファン森公園」にちなんで「アファンの森」と

像を交えながら紹介。森が心に傷を負った子供たちにとっても癒しの場になっている様子も紹介しながら、「汗と愛情を注げば森はどんどん豊かになり、自然の中で子どもたちも元気になる」と訴えました。ニコルさんの講演に先立ち、下山宏学長は「名城大学も大学、高校一丸となって環境に配慮したキャンパスづくりに取り組んでおり、名古屋で来年間催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を盛り上げるため里山体験企画などにも取り組んでいます」とあいさつしました。



伐採後の切り口を見る子どもたち



バームクーヘン作りを体験する子どもたち



第1回 親子里山自然教室

愛知・名古屋では、2010年の生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されます。これに合わせて、本学では読売新聞と共催し、「エコキャンパスプログラム」を行っています。5月16日、「エコキャンパスプログラム」の第1回親子里山自然教室が、岐阜県可児市久々利の「我田の森」及び本学可児キャンパスで開催され、親子連れ7組14人が参加しました。午前は、はじめに子どもたちが我田の森での田植えを体験、泥まみれになりながら挑戦しました。続いてはバームクーヘン作り。里山の炭を使い、協力団体である里山クラブ可児の皆さんが手伝いながら、竹に生地を塗っては焼くという作業を繰り返しました。親子で一生懸命作った、できたてのバームクーヘンの味は格別だったようです。午後からは会場を可児キャンパスに移して、まずは小池聡教授の里山ミニゼミナール。里山整備の必要性を学んで、里山クラブ可児による



チェーンソーを用いた伐採作業を見学しました。最後に、岡林繁教授らによる「仮想都市生成評価装置」を体験し、可児キャンパスでのスケジュールを終えました。プログラムを終了し、名古屋駅に到着した皆さんは、疲れた表情ながらも楽しかったと目を輝かせていました。今回を皮切りに、親子里山自然教室が8月、11月、来年2月、5月と続き、最後に来年9月のシンポジウムが開催される予定です。

2 「教育の充実」分野

●初年次教育を含む全学共通教育の充実を支援する。

・犬山サミットにおいて、「達人教育への第一歩—教育の質保証—」をテーマにJABEE手法の活用、初年次教育の設計について検討。(平成20年9月19日～20日)



●学部・研究科の教育の質保証及び質向上の取組を支援する。

・(財)大学基準協会へ認証評価として、大学評価及び法科大学院認証評価に申請した。大学評価は、同協会の定める大学基準に適合認定を、法科大学院認証評価については、同協会の定める法科大学院評価基準の一部に適合していないとの判定を受けた。

・JABEEへの継続的な取り組み。(理工学部建築学科が中間審査を受審。)

・「戦略的学大連携支援事業」に名古屋市立大学他9大学と共同で申請し、採択。(「取組名：6年制薬学教育を主軸とする薬系・医系・看護系大学による広域総合教育連携」/薬学部)

・「専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム」に愛知教育大学他2大学と共同申請し、採択。(「取組名：高い実践力を育てる教員養成プログラム開発」/教職センター)

●実践的英語力の底上げと卓越性への取組を支援する。

・英語力向上を目的に「多読ルーム」をオープンし、約5,000名(延べ)が利用。



●附属高等学校の教育活性化と卓越性への取組を支援する。

・「第3回スーパーサイエンスハイスクール東海地区フェスタ2008」(平成20年7月21日)を開催。



・「SSH生徒研究発表会」(平成20年6月14日、12月6日、平成21年2月12日)を開催。

・普通科国際クラスと人間学部との高大一貫教育について、第3期生(16人)が人間学部へ入学。

・SSH高大連携事業の一環として、国際ボランティアでタイにて植林活動を実施。(平成20年8月20日～8月26日)

・キャリア教育の一環として、外部講師による講演を23件実施。

・第5回オーストラリア研修(平成20年8月10日～8月24日)を実施。

3 「研究の充実」分野

●外部研究資金の獲得を奨励し必要な支援策を講ずる。

・理工学研究科 飯島教授が第1回カブリ賞及びアストゥリアス皇太子賞、薬学部 鍋島教授が فرانケメダルを受賞。



・科学研究費補助金申請に係る学内アドバイザー制度を構築。

・戦略的研究基盤形成支援事業として、「『ものづくり』を基盤とした地域社会の活性化と産官学連携の形成に係る研究拠点の形成(経営学研究科・経済学研究科)」及び「アグリオミクスによる環境調和型物質循環の構築(農学研究科)」の2件選定。

・科学研究費補助金：申請件数148件、採択件数72件、採択金額139,770千円。

・受託性大型プロジェクト：24件・441百万円、受託研究：45件・111百万円、奨学寄附金：68件・73百万円。

平成20年度 事業報告 について

I 基本テーマに対する成果

1 経営と教学が協働するガバナンス体制の構築

・理事長の諮問機関である「第二次経営問題検討会」において、ガバナンス体制について検討し、平成21年度から新体制がスタート。(理事総数 12人→15人(3人増)、評議員総数 38人→41人(3人増)。)(変更後の人数は、平成21年4月1日現在分。)

・経営と教学全般の将来構想のフレームワークについて企画することを目的として、「名城戦略審議会」を設置。

2 新学部設置に向けた検討

・「新学部等開設準備室」を設置し、平成22年度以降に「科学コミュニケーション学部(仮称)」の設置に向けた計画案を作成。

3 附属中学校の設置をめぐる総合学園化構想の検討

・平成23年度以降の附属中学校の設置に向けて、「附属中学校設置準備室」を設置。

4 開学100周年を目指した周年事業プロジェクトの始動

・開学100周年を視野に入れ、名城戦略審議会の下に「ブランディング事業部会」及び「開学100周年事業部会」を設置。

II 平成20年度の事業計画に対する事業の成果

1 「人材の確保と育成」分野

●大学院教育を含むFD(Faculty Development)活動を支援する。

・FD講演会(平成20年11月4日)を開催し、283名が参加。



・教育改善の方向性を見出すことを目的として、9月下旬から10月中旬にかけて学部等別ワークショップを実施し、302名の教員が参加。

・第1回T&L CAFE(Teaching & Learning CAFE) 新任教員座談会(平成21年3月10日、16日)を開催し、13名の新任教員が参加。

・前期に教員と学生による授業満足度アンケートを実施。(実施率90.8%)

・附属高等学校の授業満足度調査において、6教科以外についても自由記述による満足度調査を実施。

●事務職員の人材高度化をめざすSD(Staff Development)を支援する。

・大学院派遣研修として、大学・学校づくり研究科を事務職員3名が修了。

・若手事務職員基礎研修の実施。(平成20年9月10日～11日)

・管理職者を対象に「平成20年度セミナー 戦略ってなんだろう?」の実施。(平成21年3月23日、26日)

8 「経営改革」分野

- 人材のプロフェッショナル化を促す給与体系の見直しに取り組む。
 - ・「賃金の在り方専門委員会」において、新俸給体系のフレームワーク、新俸給体系の設計、事務職員の人事制度と賃金体系について検討し、制度設計をした。
- 年度目標額の設定と達成に向けた募金事業に取り組む。
 - ・「名城大学教育振興資金」として159件、約43,570千円の寄付を受納。
- 中長期の教育研究環境整備の財源となるコスト削減策に取り組む。
 - ・天白キャンパスにおいて、空調システムに「エスコ事業」を導入。
- 施設設備の充実と第二期再開発計画マスタープランの実行と評価に取り組む。
 - ・天白2・6・7号館、八事7号館の耐震工事を実施。
 - ・第二グラウンドの人工芝設置工事を実施。
 - ・附属高等学校の体育館整備計画を作成。
- 附属高等学校の活性化につながる教員専任率向上に取り組む。
 - ・平成21年度の教員専任率の向上に向けて、採用を進めた。(5名増加、H21専任教員数 93名)

9 その他経営・教学の動き

1) 経営

- ①外部環境等を踏まえて、学校法人名城大学の基本戦略(MS-15)の戦略プランを洗練させた。
- ②「名城戦略マネジメントカレンダー」及び「2007年度MS-15活動報告書」を作成し、1年間のマネジメントサイクルを明確にした。
- ③平成21年度一般入学試験合格者を対象に、経済的理由に対応した奨学金制度を導入。
- ④都市情報学部が平成21年度入学生を対象とする新奨学制度を導入。
- ⑤平成21年度から英語教育の質的充実を図るため、嘱託英語講師制度を構築。
- ⑥業務処理の迅速化を目的とした決裁権限の委譲を含む文書処理の見直し。

2) 教学

- ①新司法試験の最終合格者5名を輩出。(本学法務研究科出身者)
- ②平成21年度教員採用試験に111名合格。(現役16名、卒業生95名)
- ③大学院生対象に、大学院特別講座(「英語プレゼンテーション」)を実施。
- ④アジア研究所の研究助成プロジェクトとして、企画型プロジェクト3件、公募型プロジェクト5件を採択。(総額11,000千円)
- ⑤総合研究所において、公開講演会「地震の予知と防災」など、各種セミナー・シンポジウムを開催。
- ⑥アジア研究所において、南アジアセミナー、外務省・外交講座などを開催。
- ⑦7つの学内助成事業を対象に公募を実施し、選定した結果、47課題で総額54,090千円を助成。



⑧「名城大学Day」(平成20年9月14日)を開催し、5,350名が参加。



⑨「名城大学静岡シンポジウム」(平成20年11月22日)を開催し、220名が参加。

- ⑩高校等への出前講義の実施。(123件)
- ⑪ISO14001に基づく取り組みを推進。
 - ・第7回ISO14001フォーラム(平成20年12月4日)を開催し、約450名が参加。
 - ・ISO14001認証の更新審査を受審し、改めて認証登録。
- ⑫附属高等学校における学校評議員制度において、平成19年度重点目標の検証、平成20年度重点目標、授業評価実施報告等を実施。

4 「学生(生徒)支援体制の充実」分野

- 学生(生徒)満足度の向上を目指す総合的支援を奨励する。
 - ・就職情報交換会を開催。(322社参加)
 - ・学内企業セミナーを開催。(535社参加)
 - ・附属高等学校において、スクールカウンセラー、担任、学年主任等による日常的な相談体制を確立。
- 課外活動の強化クラブへの支援を強化し育成環境の充実策を講ずる。
 - ・特別強化スポーツクラブ(女子駅伝部、硬式野球部)及び強化スポーツクラブ(柔道部、ハンドボール部、アメリカンフットボール部、ラグビー部、バレーボール部)への支援の実施。
 - ・「第26回全日本大学女子駅伝対校選手権大会」及び「第6回全日本大学女子選抜駅伝競走」において、女子駅伝部が共に第3位。



・ラグビー部が第59回全国地区対抗大学ラグビー大会で20年ぶり8回目の優勝。



・アメリカンフットボール部が東海リーグ優勝。(10回目)

- 国際交流・連携プログラムの組織化に取り組む。
 - ・海外協定校として、新たに5校と締結。(海外協定校数:49大学等)
 - ・海外協定校である清華大学及び全南大学校との合同シンポジウムを開催。
 - ・附属高等学校にニュージーランドのホロフェヌア・カレッジ及び米国プレザントバリー校から生徒を受け入れた。

5 「卒業生及び父母(保護者)との連携強化」分野

- 卒業生の母校満足度向上策への取組を奨励し支援する。
 - ・卒業30周年事業ホームカミングデイ(平成20年11月30日)を開催し、180名の卒業生が参加。
 - ・卒業生、在学生父母を対象にキャンパス見学会(平成20年7月19日)を開催し、322名が参加。
 - ・卒業生との連携強化に向けて、平成20年度卒業生全員にメールアドレスを付与。



6 「産学官連携の推進」分野

- 産学官協働の動きを奨励し戦略的連携策の取組を支援する。
 - ・特許出願は、国内出願27件、外国出願11件。
 - ・官公庁等主催の展示会に積極的参加。(10件)

7 「地域貢献」分野

- 安心安全の地域づくりに参画する取組を奨励し支援する。
 - ・「ボランティア協議会」の活動(省エネパトロール、地域安全パトロール、「能登半島地震」及び「新潟中越沖地震」に対する復興ボランティア活動、盲導犬ボランティアなど)に積極的に支援。
 - ・都市情報学部が美濃加茂市と地域連携協定書を締結。
 - ・附属高等学校の生徒が地域と連携し、庄内用水一斉清掃を実施。
- 地域生涯学習プログラムに対する拠点づくりの支援策を講ずる。
 - ・名駅サテライト(MSAT)を開設。(名古屋駅前SIAビル)(利用実績503件、7,634名(延べ)。(平成20年9月～平成21年3月実績))



平成20年度 決算について

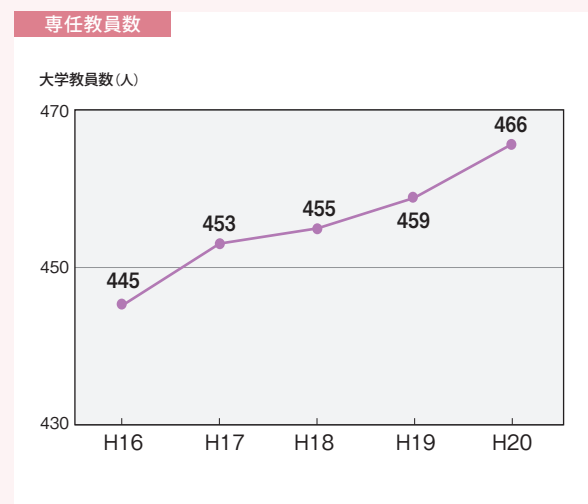
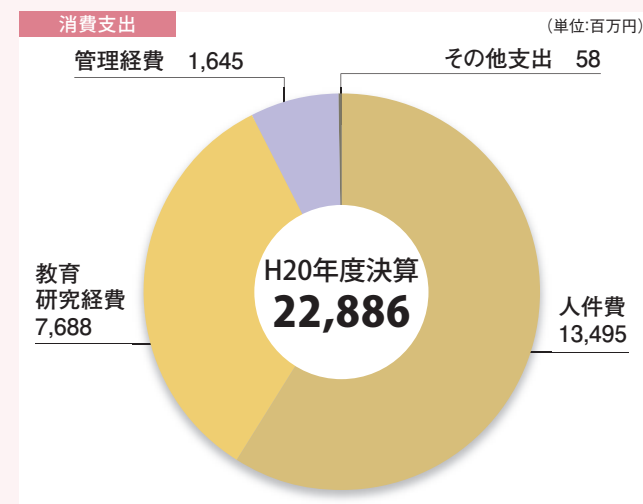
消費支出

教育充実にに向けた積極的な教員採用

- ・教職員等人件費が6割弱を占める他、講義・実験実習などの教育研究経費が3割程度と、支出の約9割が教育研究活動に関連したものとなっております。
- ・教育充実に向け教員採用を進めた結果、前年比7人の増加となっております。

教務系次期情報システムの導入、IT環境の整備

- ・2.7億円をかけ、教務系次期情報システムを導入する等、IT関連支出は前年比3億円増の総額13億円となりました。



トピックス

堅実な資産運用

- ・トップ方針から「安全性」をモットーに資産運用を心掛けており、デリバティブ運用の損失等は発生しておりません。

収入構造「多様化」に向けた取組み

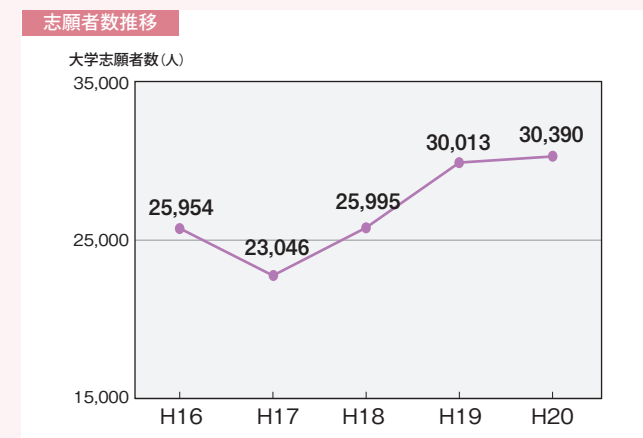
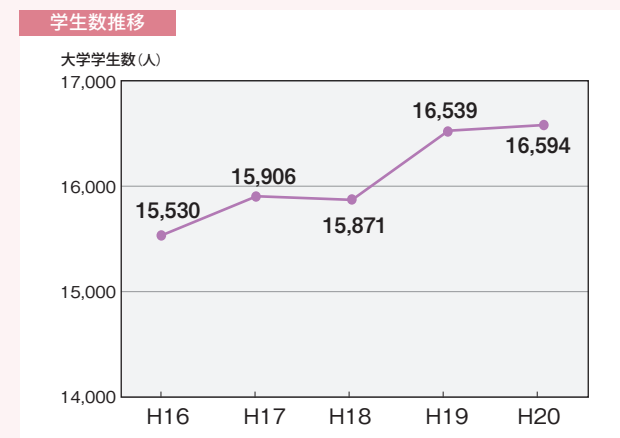
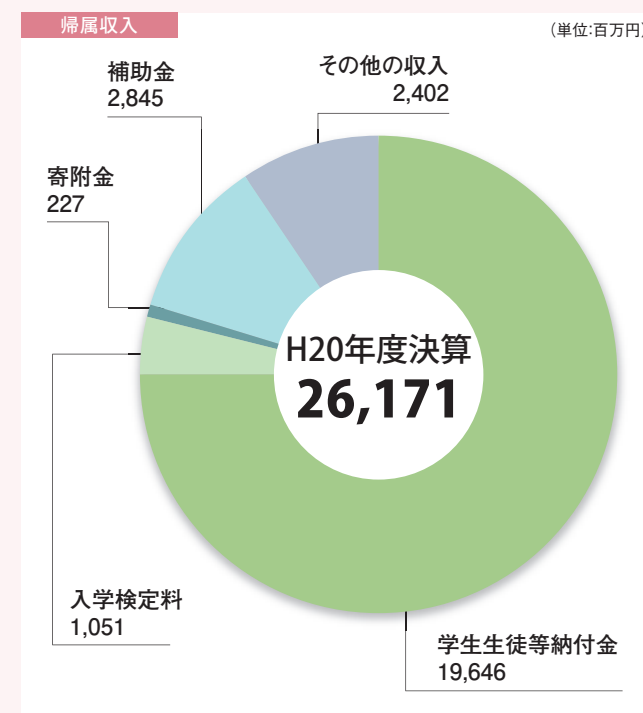
- ・厳しい経済環境下、寄附金、外部資金の獲得等、収入構造の多様化を図りたいと考えています。

キャンパス再開発事業、更なる教育研究環境の充実に向け、収入構造の多様化・支出構造の見直しにより、健全な財務体質構築に努めてまいります。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

帰属収入

2年連続高水準の志願者数

- ・学生生徒等納付金収入、入学検定料などの収入が全体の7割以上を占めています。
- ・受験人口が減少する中、名城大学志願者数はおかげさまで2年連続3万人を超え、また学生数は東海地区最大規模の16,000人以上となりました。この結果、収入は前年に引き続き高水準となっております。



入学センターからのお知らせ

秋のオープンキャンパス開催 高校生の皆さん、友人やご家族とお越しください!

- 10月3日(土) 10:00~16:00
 - 天白キャンパス(法学部、経営学部、経済学部、人間学部、理工学部、農学部)
 - 八事キャンパス(薬学部)
- 10月24日(土) 10:00~15:00
 - 可児キャンパス(都市情報学部)

内容等詳細は、名城大学HPをご覧ください。



平成22年度 推薦入学出願開始 迫る!

平成22年度 名城大学推薦入学試験のご案内
公募制推薦入試

募集学部	出願期間	試験日	試験地
全学部	10月27日(火)~11月5日(木)	11月22日(日)	天白・八事・可児

専門高校等推薦入試

募集学部	出願期間	試験日	試験地
経営学部 経済学部 都市情報学部	10月27日(火)~11月5日(木)	11月22日(日)	天白・可児

◆指定校推薦入試については、各高校の担任または進路指導の先生にお問い合わせください。 ◆その他の試験方式を含め詳細については、名城大学HP、入学ガイド等をご覧ください。

高校生、高校生保護者による キャンパス見学会 盛況!

「百聞は一見に如かず」…入学センターでは、「高校生生の大学への関心を高め、勉学意欲を高めた」との高校側の要望に応えるとともに、高校生保護者のPTA研修の一環として、大学キャンパスの見学会を受け入れています。年々これらの要望も多くなり、昨年1年間では78件の大学見学会(キャンパスツアー)を実施しました。
今後も要望があれば、積極的に対応していくことにしています。



お問い合わせ先 名城大学入学センター 052-832-1151 (代)

名城大学の就職支援体制

本学では、内定を勝ち取るまで4年間にわたって進路・就職相談ができる体制をとっています。インターネットの普及により情報が氾濫し、学生たちは、何がある有用な情報か判断することが難しい状況にあります。また、学生の悩み・就職意識も一律でなく千差万別であり、個別指導・相談体制はますます重要なものとなっております。

名城大学就職支援の特徴

1・2年次では、「講演会」「キャリアガイダンス」「職業適性テスト」などによって、学生が自発的に自分の進路を考える機会を提供し、自己実現をサポートしています。また、低学年の学生がボランティアで就職イベントを手伝う「就職サポーター」



制度もあり、意識の高場に役立てています。3年次からは実践的な就職指導が始まります。「就職ガイダンス」からスタートし、「グループ面談」「個人面談」の面談指導を軸にし、「模擬試験」「履歴書、エントリーシートの書き方講座」「模擬面接」「学内企業研究セミナー」など多彩な行事が開催されます。

更に、「学内企業研究セミナー」は約600社が参加する東海地区最大規模のもので、就職支援の大きな柱となっています。学内企業セミナーへの参加が内定に結びつくケースもあり、学生参加も延べ1万2千人を超えています。

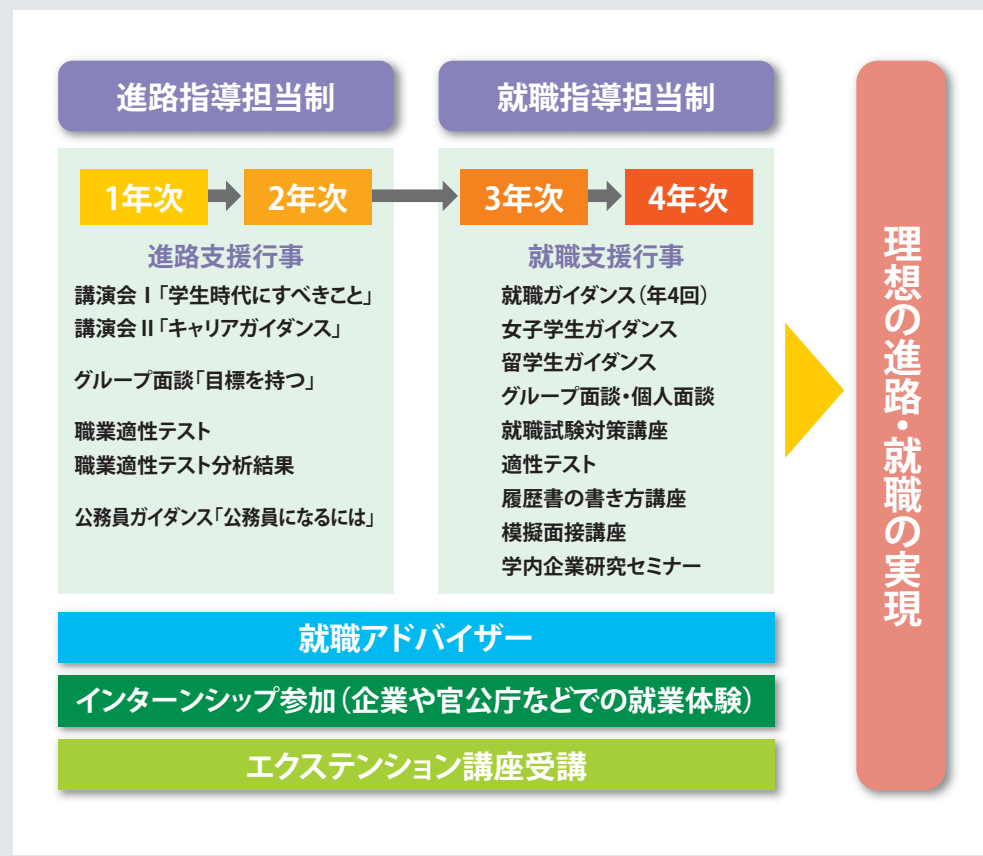
また、就職が内定した4年生および本学卒業生の力を活用した就職アドバイザー制度(2009年3月末現在…登録者数2,750人)があります。就職活動中の学生や、就職をこれから始めようとする学生にとって、先輩に相談できる心強い制度となっております。

更には、個別



担当者制に加えて、キャリアセンターでは、企業の人事採用経験のあるアドバイザー3人による模擬面接や履歴書添削中心に学生相談を実施しており、学生にとって心強いサポートとなっております。

以上のように本学では、面談指導と各種行事を含め多彩な学生支援プログラムを実施し、就職活動のさらなる充実に向け努力を続けております。



公開講座のご案内

名城大学では、様々な公開講座をご用意いたしております。平成21年度後期は次の講座があります。



申込不要、入場無料
平成21年10月17日(土) 13:30~16:15

- ①「石綿による健康障害について」
講師 臨床医学研究室 吉田 勉 教授
場所 八事キャンパス6号館4階 情報メディア教室
- ②「薬用植物・生薬を知ろう!」
~「小建中湯」おなかの薬?小児の虚弱体質改善?~
講師 生薬学研究室 能勢 充彦 教授
場所 八事キャンパス7号館3階 生物系共同実習室



申込必要、有料

講座名	「今日から役立つ契約実務」	「企業経営と実践的知的財産」
内容	国内外の契約書作成・チェックに必要な基礎知識(国際契約)	紛争、訴訟を含めた実践的知的財産マネジメントと実務対応
講師	宮島元子 名城大学大学院法務研究科教授(弁護士、弁理士)	青山高美 名城大学大学院法務研究科教授(元トヨタ自動車(株) 知的財産部長)
開催日	11月11・25日、12月9・22日、2010年1月13・27日、2月10日(全7回)	11月18日、12月2・16日、2010年1月20日、2月3・17日(全6回)
時間	15:00~17:00	
申込期限	8月6日(木)(申込期限以降に受講を希望される方は、法科大学院事務室にご相談ください)	
開催場所	名城大学名駅サテライト(MSAT)	
定員	25人	25人
受講対象者	契約担当 初級・中級者	知財担当 中級・上級者
受講料	21,000円	18,000円
申込方法等	名城大学ホームページをご覧ください。	
お問合せ先	名城大学 学務センター 法科大学院事務室 TEL:052-838-2022 FAX:052-833-5240	

上記以外にも、他の学部で公開講座の開講を予定しています。
順次、名城大学ホームページ等でご案内していきますので、楽しみに!



かんばやしあきら
会長 上林 晃

名城大学スポーツ・文化後援会からのお知らせ

- ・後援会の名称が変わりました。「名城大学スポーツ・文化後援会」
- ・上林会長をはじめ、役員改選が行われました。

平成21年度事業

※詳しくは、名城大学スポーツ・文化後援会だよりをご覧ください

基本方針

全国で戦えるクラブを特化して育成します。
名城大学の特別強化クラブ、強化クラブを中心に援助しています。

クラブ選手移動手段を重点的に支援します。
今年度からの初の試みとして、移動費を特別に設け、クラブ選手が試合や練習に集中できるよう移動手段を重点的に支援します。

就職活動の支援を側面から援助します。
名城大学キャリアセンターを通じて、在学生、卒業生の就職を支援いたします。

賛助企業のお願い・学内企業セミナー参加概要

本後援会は、実社会で役立つ学生を育成し、支援する目的で活動しております。ご賛同いただいた賛助企業様をキャリアセンター主催の企業セミナーにご推薦し、学生の就職活動を支援しております。

<学内企業セミナー参加概要>

- ・学内企業セミナーは、名城大学キャリアセンターが主催開催します。
- ・学内企業セミナーの開催月は、決定次第お知らせいたします。
- ・学内企業セミナーの参加は、1企業1回に限りです。
- ・参加希望の企業をキャリアセンターへご推薦します。
- ・賛助企業で学内企業セミナーへ参加企業の場合は、賛助企業紹介誌への広告掲載が必要です。
- ・開催月によっては、学生が少ない場合があります。ご了承ください。

ボランティア活動の支援

昨年度は、下記の活動等において支援を行いました。

- ・ふれあいあいさつ運動
- ・中国・四川大地震被災地支援募集
- ・平成20年8月末豪雨復興ボランティア
- ・あしたの丘祭りボランティア
- ・天白クリーンキャンペーン



名城大学「卒業30周年ホームカミングデー」のご案内

本学では、昨年から「卒業30周年ホームカミングデー」を継続的に実施しております。人生の中でも大きな節目である卒業後30年目の皆様に大学にお集まりいただき、「懐かしい友との出会い、新しい友との出会い」を通じて母校を振り返る機会としていただきたく実施しているものです。

学生時代を謳歌した同窓が一堂に会し、「新たな再会」を通して強固なネットワークを構築する場となり、さらには名城大学の今日までの発展と開学100周年に向けた今後の展望を感じていただければ幸いです。

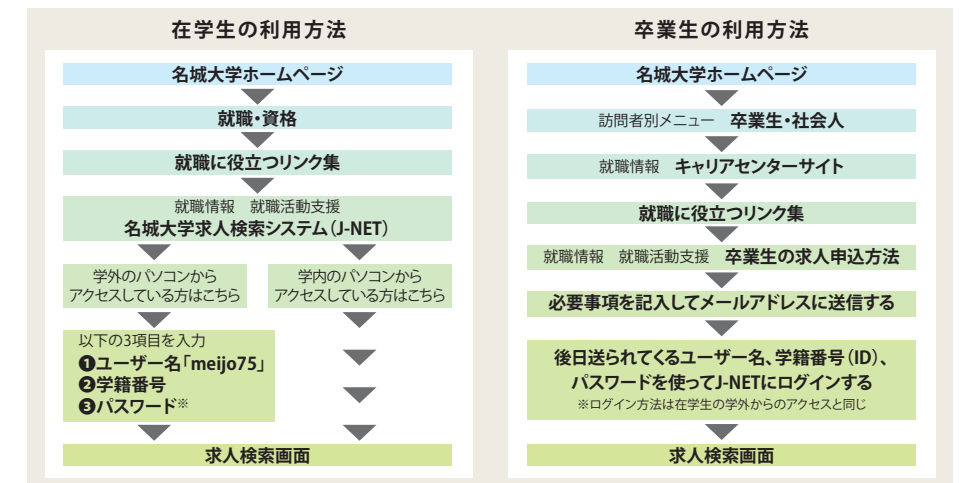
今年度は**昭和54年度(昭和55年3月卒業・修了)卒業生の皆さんが対象です**。該当の方には追って詳細なご案内をお送りいたしますが、是非ともお知り合いの同窓生をお誘い合わせの上、一人でも多くの方にお越しいただきますことを、心より願っております。

- 開催日時 平成21年11月28日(土) 12:00~19:00
場所 名城大学天白キャンパス共通講義棟北「名城ホール」「名城食堂」
事業 懐かしの学食体験、キャンパス見学会、ウエルカムコンサート、お楽しみ抽選会、懇親交流会

お問い合わせ先 大学・附属高等学校振興推進準備室 **052-838-2066**(ダイヤルイン)

賛助企業ナビ

名城大学スポーツ・文化後援会は、名城大学の在学生、卒業生の皆さんの就職を支援いたします。



※生年月日を8桁の数字に直したものを(例:19880501)

名城大学スポーツ・文化後援会事務局

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜1-501 名城大学学務センター内
TEL (052) 832-1151(代表)内線2663、2605 / (052) 838-2029(ダイヤルイン)
FAX (052) 832-9939 E-mail spobun@ccmails.meijo-u.ac.jp

お問い合わせ

準硬式野球部

準硬式野球部としてのアイデンティティを持って

体育会準硬式野球部は2009年6月現在、東海地区2部リーグに所属。東海地区リーグは5部まであり、24大学がしのぎを削っています。

天白キャンパス第1グラウンドを主な拠点に、朝夕の練習に励んでいます。また、第1グラウンドを利用できない時は学外の練習場確保に奔走することも多々あります。

個性の強い部員43人をまとめるのはキャプテンの畑辺洋佑さん(経済学部3年)。2部リーグでの優勝を第一目標に掲げ、今年春、5年(11季)ぶりの2部リー



グ優勝を見事果しました。残念ながらもう一つの目標だった1部リーグへの入替戦には敗れて、昇格はならず。無念さをにじませながら、畑辺キャプテンは「今までは自分たちに甘えがあった。もう1度練習し直して、秋には2部リーグ優勝に加えて必ず1部リーグ昇格を果たしたい」と奮起を誓っていました。

次の目標は2003年以来の1部リーグ復帰。これまでの楽しいだけではない「勝つ野球」を信念に、準硬式野球部としてのアイデンティティを持って、さらに上を目指していきます。



想 い

テレビ番組「大学を知ろう～知の道しるべ～」(BS日テレ、8月23日(日)11:00～11:30放送予定)で、とある女子学生を追跡取材することになり、私も同行しました。本学の就職支援体制を紹介するため、その学生がキャリアセンターを利用する場面などを撮影するということだったので、彼女は実際に就職活動中の学生でした。撮影が進んでいくにつれ、彼女が希望する企業から内定をもらえるのか、テレビクルーも自分自身も、応援する気持ちと心配する気持ちを強めていきました。

幸いにも、その学生は見事第一志望の企業からの内定を獲得することができ、番組内でもハッピーエンドとして取り上げることができました。

内定を獲得することが困難な昨今、就職率が高いと言われる本学においてさえも、何人も学生が悪戦苦闘しています。最後はどうしても学生自身の頑張りが必要を左右します。彼女のように、一人でも多くの学生が笑顔で就職戦線を乗り切ることを願ってやみません。👉